

第66回
気仙沼みなとまつり

報 告 書

開催日：平成29年8月5日（土）
8月6日（日）

気仙沼みなとまつり委員会

「第66回気仙沼みなとまつり」 骨子

■ 8月5日（土）

○初日 陸上行事：田中前大通り会場（交通規制：午後4時00分～午後9時00分）

・「オープニングセレモニー」（午後4時30分～午後5時10分）

・「はまらいんや踊り」（午後5時30分～午後8時00分）

田中前地区の大通りを会場として「輪踊り」形式で実施

■ 8月6日（日）

★昼の部（交通規制：午前10時30分～午後2時30分）

○街頭パレード出発式（午前11時00分～午前11時10分）

○街頭パレード（午前11時15分～午後2時00分）

市役所周辺（三日町、八日町、南町地区内）でコース設定

★夕の部（交通規制：午後4時00分～午後9時30分）

○打ちばやし大競演（午後5時00分～午後8時30分）

気仙沼市内ほかの太鼓団体による「打ちばやし大競演」の実施
会場については港町臨港道路で設定

○海上うんづら 第一部（午後5時00分～午後7時00分頃まで）

停船演技（港町岸壁への接岸）「どや節」披露

第二部（午後7時15分～午後8時30分）

内湾での運航演技

○さんま船集魚灯披露（午後5時00分～午後8時30分）

協力：第八十一豊清丸

○海上打ち上げ花火（午後8時00分～午後8時30分）

※海上行事は、前半に海上うんづらと打ちばやし大競演による迫力の太鼓演技で魅せ、後半はクライマックスとして海上うんづらの運航、打ちばやし大競演、さんま船集魚灯披露、海上打ち上げ花火と盛り上げていく。

※立正佼成会石巻教会気仙沼支部の「大流灯」については、内湾の護岸工事等により安全面の確保が難しいことから今回も演技を見合わせることにする。

1. 特 徴

- (1) 今年のみなとまつりは、これまでの内容や復興状況を参考に、行事ごとの連携や人の流れ、タイムスケジュールなどに繋がりを持たせ、まつり全体がより一体となるようなプログラム構成とし、「港のまつり」のイメージを一層強める事を念頭に、演技する人も見る人もともに「感動・元気」が得られるまつりを企画した。

- (2) オープニングセレモニーでは、(一社)気仙沼青年会議所の銀輪太鼓の勇壮な演技から始まり、大会会長である菅原気仙沼市長の挨拶のあと、インドネシア共和国駐日特命全権大使のアリフィン・タスリフ大使からお祝いメッセージ頂き、大勢の来賓を紹介したあと、第66回気仙沼みなとまつりが開幕した。

- (3) 8月5日(土)の「はまらいんや踊り」には、学校の部、サークル・自治会の部、企業の部から67団体、約3,200名が参加し、今年も輪踊り形式で開催。
今年若干会場を広げ、各参加団体からの運行係も増員して頂き、安全かつスムーズな運行を図ったが、やはり会場スペースは限られているので、順調には輪を進める事ができなかった。次年度以降も課題になると考えられる。

- (4) 8月6日(日)は、【昼の部】として街頭パレード出発式からスタート。今年も復興工事の兼ね合いでパレードコースを若干変更しての開催となった。出発式では来賓紹介のあと、数年ぶりの参加となる気仙沼高校吹奏楽団にファンファーレを演奏して頂き、その後、来賓・主催団体長・実行委員会等によるテープカットを行い、街頭パレードがスタートした。
まだまだ震災前の街頭パレードを行う事は出来ないが、「港町気仙沼」ならではの活気と伝統ある演技に大きな拍手がおくられた。

(5) 【夕の部】として、「打ちばやし大競演」からスタート。昨年同様、港町臨港道路とカメイスタンド様前からみちのく建設工業様前までを会場に実施した。

海上では恒例の第八十一豊清丸の「さんま船集魚灯の披露」や（一社）気仙沼青年会議所の「海上うんづら」が勇壮な打ちばやしに合わせ湾内を周回し、まつりムードは一気に盛り上がりを見せた。

フィナーレを飾る「海上打上げ花火」は、今年も秋田県大仙市の(株)和火屋による打上げで実施。

台船を使用して尺玉やスターマインを打上げ音と光を演出。「打ちばやし大競演」と「さんま船集魚灯披露」・「海上うんづら」・「海上打上げ花火」のそれぞれ迫力あるプログラムの饗宴で閉幕。陸に、海に、空に、港町一体で繰り広げられるまつり行事は、港町“気仙沼”を大いにアピールし、勇壮さを感じさせた

「第66回気仙沼みなとまつり」となった。

(6) 内湾の復興工事の進捗状況や安全面を考慮し、今年も立正佼成会石巻教会気仙沼支部による「大流灯」は見合わせる形となった。



第66回気仙沼みなとまつりポスター

2. まつり行事内容について

<8月5日(土)>

(1) 第66回気仙沼みなとまつりオープニングセレモニー開催

午後4時30分より開催。(一社)気仙沼青年会議所による勇壮な「銀輪太鼓」がオープニングを飾り、つづいて大会会長である菅原気仙沼市長が挨拶。

今年は3年ぶりにインドネシア共和国駐日大使館ご一行が来市し、駐日特命全権大使のアリフィン・タスリフ大使からお祝いのメッセージを頂いた。

大勢の来賓を紹介したあと「第66回気仙沼みなとまつり」が開幕した。

司会進行は、気仙沼出身のフリーアナウンサーの岩手佳代子さんと気仙沼商工会議所青年部の一色法人さんが務めた。

(2) はまらいんや踊り

オープニングセレモニーに引き続き、開始予定時間通り午後5時30分よりはまらいんや踊りが開始した。

はまらいんや踊りには学校の部、サークル・自治会の部、企業の部から67団体、約3,200名の参加のもと今年も輪踊り形式で実施。

今年は会場(モスバーガー前～東北銀行気仙沼支店前)を若干広げ、参加団体からの運行係も増員し、安全かつスムーズな運行を図った。

バンド演奏は、気仙沼出身のバイソン片山率いる「バイソン片山トリオ」とジャズピアニストの「岡本優子」さんが迫力のある生演奏を披露した。

休憩中には、声優である神谷明さんが代表作であるキン肉マンをステージ上でブライズ披露。

今年も市内小学生15名による掛け声隊が熱唱し、今では踊りにはなくてはならない存在である。途中休憩を挟みながら、参加団体はそれぞれが趣向を凝らした衣装や踊りを披露、参加者も観客もまつりを堪能し、熱気溢れた「はまらいんや踊り」となった。

(参加67団体、約3,200名)



盛り上った「はまらいんや踊り」

<8月6日(日)>

(3) 街頭パレード

復興工事の兼ね合いで、今年もパレードコースを変更しての開催となった。

パレードコースとしては、三日町大友病院様をスタートし、気仙沼市役所前、昨年のゴール地点(株)気仙沼商会様本社前を經由し、市営南町一丁目住宅付近をゴール地点と若干延伸するコースを設定した。

午前11時から街頭パレード出発式を三日町大友病院様前で開催。来賓紹介のあと、会長、実行委員長、主催団体長、インドネシア共和国駐日特命全権大使、来賓等によるテープカットを、数年ぶりの参加となる気仙沼高校吹奏楽部によるファンファーレの合図で行ない、第66回気仙沼みなとまつり街頭パレードがスタートした。

会長、実行委員長を乗せたジープを先頭に、山車パレードや踊りパレード、吹奏楽パレード、神輿渡御など趣向を凝らしたパレードを繰り広げ、会場内では活気と伝統のある演技に大きな拍手がおくられた。

今年は停止演技場所を設定せず、その分各団体がゆっくりとしたペースでパレードを実施。

司会進行は、気仙沼出身のフリーアナウンサーの岩手佳代子さんと(一社)気仙沼青年会議所の斎藤大吾さんが務めた。

(参加 14 団体、約 850 名)

(4) 打ちばやし大競演

市内の和太鼓団体を中心に 27 団体、約 800 名の打ち手が約 700 基余りの太鼓を並べ勇壮な太鼓演奏が披露された。打ちばやし大競演の会場は、昨年同様、港町臨港道路のほかカメイスタンド様前からみちのく建設工業様前までを会場に実施した。

打ちばやし大競演のオープニングを飾るセレモニーを午後5時から実施し、菅沼真澄副市長からご挨拶を頂いたあと、震災後、みなとまつりに貢献された第八十一豊清丸中館漁労長に感謝状が贈られた。各参加団体、笛、ベースの紹介、そしてしよつきり太鼓の演技のあと午後5時30分に打ちばやし大競演がスタートした。

今年も(一社)気仙沼青年会議所の「海上うんづら」や第八十一豊清丸の「さんま船集魚灯の披露」、「海上花火大会」とそれぞれタイムプログラムを組んでの大競演を実施。勇壮で迫力ある「打ちばやし大競演」と一体となった港町・内湾で繰り広げられる気仙沼にしかない“音”と“光”の饗宴に、湾内を埋めた観客からは大きな歓声が湧き上がっていた。今では、市民に定着されているのが実感できた。

司会進行は、気仙沼出身のフリーアナウンサーの菅原克彦さんが務めた。

(参加 27 団体、約 800 名)

(5) 『海上うんづら』

(一社) 気仙沼青年会議所の「海上うんづら」はみなとまつりの海上行事として大きな存在。

第1部は港町岸壁に停船しての「停船演技」を午後5時から、第2部は港町・内湾を周回しながら演技をする「運航演技」を午後7時15分からの2部構成で実施。

第1部の「停船演技」では、今年も子供たちを乗船させての太鼓演技の披露を行い、第2部の「運航演技」では、(一社) 気仙沼青年会議所の理事長、直前理事長が「どや節」を唄ったあと、内湾に繰り出し、太鼓に合わせて湾内で周回演技を行った。

(一社) 気仙沼青年会議所メンバーによる「海上うんづら」と勇壮な「打ちばやし演技」は、港町の若者らしく、そして“港町・気仙沼”のまつりに相応しい大迫力で観客を魅了した。

(6) 『さんま船集魚灯披露』

午後5時から、震災後、ご協力を頂いております、第八十一豊清丸による「さんま船集魚灯」が披露され、復興に向かう気仙沼を集魚灯の点灯により照らすことで、来場した観客に大きな感動を与えていた。

(7) 『海上打上げ花火』

午後8時から、まつりのフィナーレを飾る「海上打上げ花火」が開始。今年も秋田県大仙市の(株)和火屋の花火師が気仙沼の夜空を彩る華麗な花火を打上げた。

海上打上げ花火は、オープニングスターメインで開幕。4号玉、5号玉、7号玉、8号玉10号玉(尺玉)の連発打上げと、色と光の美しいワイドスターメインなどを織り交ぜ、約2,400発を打ち上げ。

フィナーレを締めくくったのは、まつり一色の気仙沼の夜空をキャンパスに、色と光の美しいを織り交ぜた「ワイドスターメイン」が豪華絢爛に打上げられ観客を魅了した。

打ちばやし大競演、海上うんづら、さんま船集魚灯とのコラボレーションも申し分ないものとなり、気仙沼らしい、まさにフィナーレを飾る開催内容となった。

3. 協賛行事などについて

(1) POKEMON with YOU キャラバン2017

ポケモンを通じ、子供たちが集い、自然にコミュニケーションが生まれる環境を創り出すことを目的に、福幸小町田中通り駐車場と八木自動車整備工場(株)駐車場を会場として午後2時から午後8時まで開催された。

ポケモンステージやポケモングッズの特設販売スペースやポケモンとの記念写真撮影など、小さな子供たちや家族連れの観客で賑わいを見せていた。

(2) 東京海洋大学「神鷹丸」一般公開

8月4日(金) 気仙沼商港岸壁にて、午後12時30分から午後2時30分まで、東京海洋大学の「神鷹丸」が一般公開され、滅多に乗船できない「神鷹丸」ということで家族連れや船好きな方々などで賑わいを見せていた。

(3) 出店

8月5日(土)、6日(日)ともに、昨年同様みなとまつり委員会としての出店場所の確保と調整は行わず、事業者による自主出店の形式を取ることとなった。観客からは早く震災前のような出店が並んで欲しいという声があがってきている。

4. 人 出

まつり当日の人出は、8月5日(土)が33,000人(昨年同)・6日(日)が43,000人(昨年同)と、2日間合計では76,000人(昨年同)と、2日間とも時折小雨が降る天候だったが昨年並みの御来場をいただいた。

5. 天 候

◇ 8月5日(土)

5日(土)は、時折小雨が降るなど不安定な天候だったが、最高気温27.0度と夏日を観測。

暑い中でのほまらいんや踊りの開催と思われたが、始まる頃には天候も気温も落ち着き、初日の行事を無事終了する事ができた。(最高気温27.0度)

◇ 8月6日（日）

2日目は、日中の最高気温は30.0度と真夏日を観測。前日に比べると若干暑さは感じたが、昼の部の街頭パレードは日差しの厳しい時間帯であることから多くの観客が建物の日陰からまつりを見物する姿が多く見られた。打ちばやし大競演などの港町会場の周辺では、時折海風が吹き抜け爽やかさが感じられた。

時折小雨が降る不安定な天候だったが、街頭パレード出発式が始まる頃には、夏空が広がり気温も高くなり、日差しが照りつけ、夏祭りにふさわしい暑さの中での開催となった。
(最高気温 30.0度)

6. シャトルバスほか交通機関の臨時便について

■シャトルバス

気仙沼市内バス会社3社に依頼し、8月5日（土）は6コース、6日（日）は7コースを運行した。

◎8月5日（土）

①向洋高校コース

気仙沼向洋高校前 ⇔ 気仙沼市立病院前 (利用者 延べ 63人)

②松岩小学校コース

松岩小学校前 ⇔ 南郷 (利用者 延べ 187人)

③西高校コース

気仙沼西高校前 ⇔ 反松公園 (利用者 延べ 151人)

④鹿折小学校コース

鹿折小学校前 ⇔ 上田中一丁目 (利用者 延べ 100人)

⑤千厩・室根コース

千厩駅前 ⇔ 市立病院入口 (利用者 延べ 10人)

⑥唐桑・小原木コース

中井小学校前 ⇔ 南郷※旧警察署前 (利用者 延べ 0人)

◎8月6日(日)

①向洋高校コース

気仙沼向洋高校前 ⇄ 化粧坂(昼)、海の市前(夕) (利用者 延べ 79人)

②松岩小学校コース

松岩小学校 ⇄ 化粧坂(昼)、海の市前(夕) (利用者 延べ 191人)

③西高校コース

気仙沼西高校前 ⇄ 化粧坂(昼)、海の市前(夕) (利用者 延べ 126人)

④条南中コース

粋活街西口(パーラーライオン前) ⇄ 化粧坂(昼)、海の市前
(利用者 延べ 227人)

⑤鹿折小コース

鹿折小学校 ⇄ 魚町一丁目 (利用者 延べ 150人)

⑥千厩・室根コース

千厩駅前 ⇄ 魚町一丁目 (利用者 延べ 18人)

⑦唐桑・小原木コース

中井小学校前 ⇄ 魚町一丁目 (利用者 延べ 22人)

■JR 気仙沼線 BRT

8月5日(土)、6日(日)の両日、気仙沼駅発⇄本吉駅行の臨時便の運行を頂いた。

◎8月5日(土) / 20:35 発 利用者 28人

◎8月6日(日) / 21:35 発 利用者 50人

■大島汽船

8月6日(日)にエースポート発⇄浦の浜行の臨時汽船2船の運行を頂いた。

◎8月6日(日) / 21:00 発 利用者 163人 21:30 発 利用者 67人

7. 出 動（2日間の延べ人数・カッコ内は昨年実績）

気仙沼警察署	178人（187人）
気仙沼市交通指導隊	57人（62人）
気仙沼市防犯実働隊	109人（107人）
気仙沼海上保安署	10人（11人）
気仙沼消防署（消防本部含む）	47人（47人）
気仙沼消防団	129人（116人）
気仙沼市役所	280人（280人）
気仙沼市青少年支援センター	18人（18人）
（公社）気仙沼シルバー人材センター	19人（20人）
自主警備臨時職員	3人（24人）
警備艇	12人（12人）
警備部会・警備会社	40人（56人）
気仙沼商工会議所	36人（48人）
早稲田大学学生ボランティア	44人（60人）
合 計	人 982人（1,048人）

8. 警備・交通規制

交通規制区域は、今年は会場確保や交通混雑の緩和を図るため、8月5日（土）は、昨年までの田中前大通りのモスバーガー付近交差点から朝日生命交差点付近までから、アーバン前からコナカ前までを車両進入禁止と延伸する他、一本北側・南側の一方通行道路規制を解除するなど、交通混雑の緩和に努めた。

8月6日（日）は、【昼の部】の街頭パレードのための交通規制は大幅な変更はなかったが、【夕の部】の打ちばやし大競演や海上打ち上げ花火のための交通規制を変更した。

これまで、港町4車線道路付近は一部車両通行可能としていたが、今年は全面車両通行禁止とし、更に気仙沼市中央公民館前や海の市前も車両通行禁止とするなど車両と人の交差、交通混雑の緩和に努めた。

魚町の岸壁については、海中転落などの危険を防止するためバリケードを設置するほか、救命用浮き輪やハシゴを設置し、同様に打ちばやし会場にもバリケードを設置した。また、内湾付近の海上には万が一の転落などに備え警備艇も配置した。

まつり会場の警備については、まつり委員会の警備計画のほかに、ボランティアなど独自の人員を配置し警備にあたった。

9. 事 故（カッコ内は去年の数字）

まつり期間中に会場付近で発生した事故等の件数は以下の通り。

- ・ 人身事故 0 件（0 件）
- ・ 物損事故 0 件（0 件）
- ・ けが人 0 件（0 件）
- ・ 遺失 12 件（20 件）
- ・ 拾得物 22 件（43 件）
- ・ 迷子 1 件（1 件）

気仙沼警察署や気仙沼海上保安署、気仙沼消防署ほか警備に携って頂いた各団体の協力に感謝を申し上げます。

10. 清 掃

まつり会場内にエコステーションを設置し、今年も学生ボランティアの呼びかけにより、来場者には分別の徹底やゴミの持ち帰りにご協力を頂いた。

会場周辺の清掃は8月6日（日）早朝に田中前大通り周辺地区を、8月7日（月）早朝に三日町・八日町・南町・内湾地区を下記の団体のご協力を頂き実施した。

早朝清掃協力者

（公社）気仙沼シルバー人材センター、市民憲章推進協議会気仙沼地区部会、気仙沼海友会、全国海友婦人会気仙沼支部、気仙沼市婦人連絡協議会、清港会、（株）気仙沼商会、（株）小野良組、気仙沼市役所、気仙沼商工会議所

田中前地区や南町地区などまつり会場付近では、近隣にお住まいの方々や事業所の方々が定期的に清掃や草刈などを行っており、ゴミや雑草のないきれいな状態でまつりが実施でき、関係の皆様感謝を申し上げたい。